

# チームワークで24時間365日 皆様の生活を支えています

樽前山麓から湧き出た水は、一筋の流れをつくり、まわりの生き物たちにつながるおいしさを与えています。上下水道部では、その貴重な水を自然から一時的に借り、浄水場できれいにしてお客様にお届けし、使い終わって汚れた水は、下水処理センターで浄化してから自然に返しています。

この特集では上下水道部の仕事について、前半は水道を、後半では下水道の仕事を簡単にご紹介します。

## 上下水道がなかったら

私たちは、日常生活の様々な場面で上下水道を使っていますが、もしも大地震などの災害によって使うことが出来なくなったら、私たちの生活はどのようなになってしまうのでしょうか。

飲み水をはじめ調理などには、きれいで安全な水が必要ですので、そのためには川の水を煮沸消毒して使うなど、手間をかけなければなりません。

一方、洗濯やお風呂、トイレなどの生活用水には川の水が使えますが、通常、私たちが生活の中で使う水の量は、1人あたり約250リットルとされており、これだけの量を毎日運ぶのはとても大

変です。

また、お客様のご使用後は、自然から借りた水を返すため、各家庭から汚水を集め、下水処理センターで浄化する必要があります。

もしも下水道がなければ、私たちが汚した水はそのまま川に流れ込み、その下流に住んでいる人たちは川の水を使うことが出来ず、また、蚊やハエなどを媒体とした伝染病が発生することも考えられます。

このように、安全で安く、しかも豊富に使える水道と、健康で快適な暮らしを支える下水道は、今の私たちの生活には欠かせない大切なものなのです。上下水道部では、市民の皆様は24時

間365日、「当たり前」に使える上下水道を提供するために、全職員が協力しながら日々業務を行っています。

## おいしい水の製造工場

上下水道部の仕事は、自然から水を借りるところから始まります。

苦小牧市では、市内を流れる3つの河川から取水しており、東西にある2つの浄水場で安全でおいしい水を作っています。

東の高丘浄水場は緩速ろ過方式、西の錦多峰浄水場では急速ろ過方式で水道水を作っていますが、どちらの方式でも安定して作り続けるには、適切な運転管理や施設のメンテナンスが必要

